

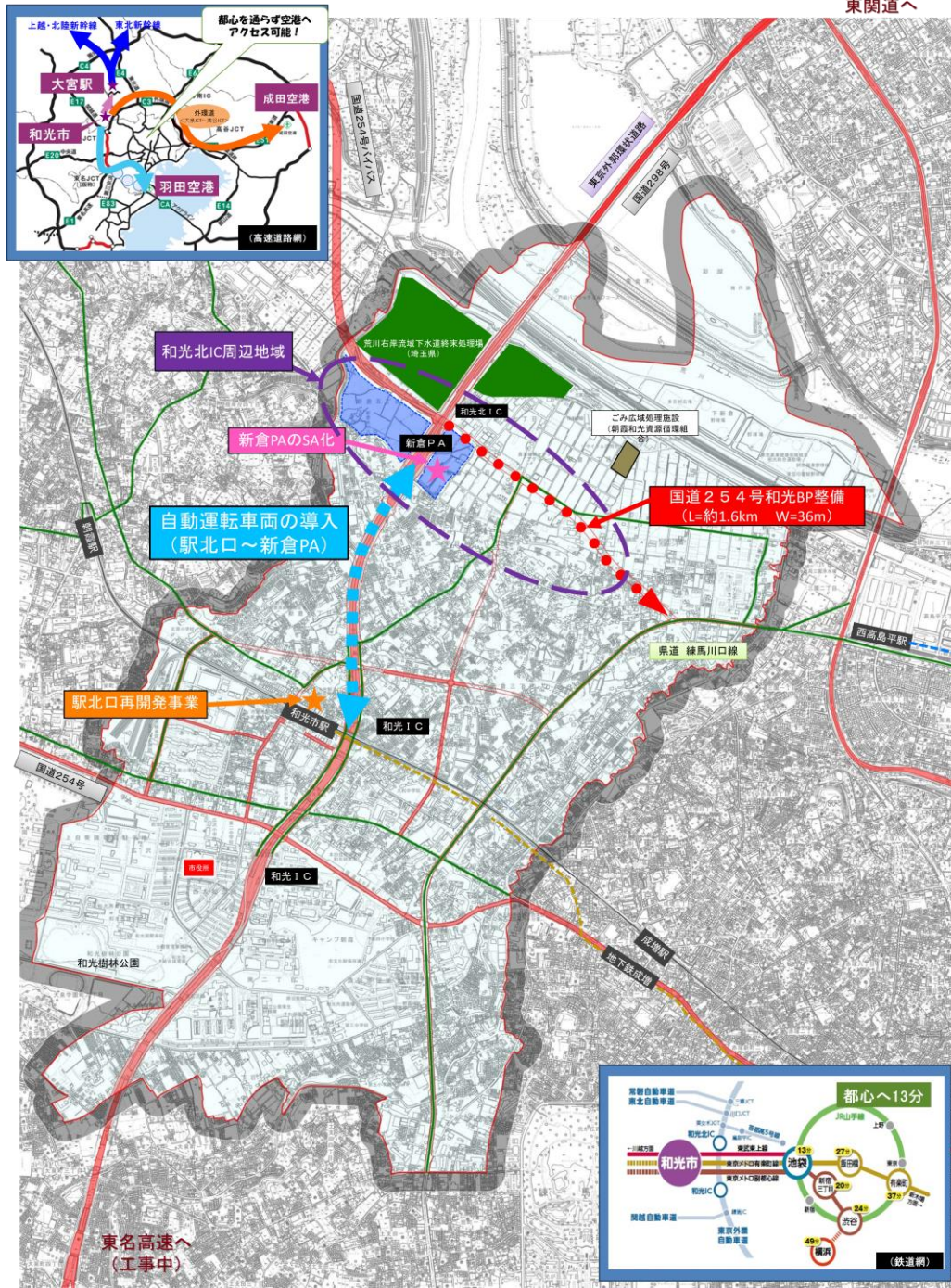
和光市版スーパーシティ構想

概要	<p>新たに駅北側の交通拠点と北IC周辺の産業拠点を整備するとともに、これらの拠点を結ぶ自動運転サービスと既存の公共交通ネットワークを連結させスマート交通システム(和光版MaaS)を構築し、市内の各拠点が有機的に結ばれたコンパクトで自立した都市づくりを推進する。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の進展、財政運営の悪化 ・利便性の高い地域公共交通網の整備 ・大災害への備え

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな交通システムによる都市機能の集積 	<p>長期 (10年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・駅北口の交通拠点としての機能強化に向けた再開発 ・北IC周辺地域における産業拠点の形成に向けた土地区画整理事業、新倉PAの拡張の推進 ・拠点周辺の道路網の整備 ・スマート交通システム(和光版MaaS)の構築 	
スマート	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点間を結ぶ自動運転サービスの導入 	<p>中期 (3~5年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自動運転技術の社会実験(レベル4) ・自動運転専用レーンの設置 ・高度通信システム(5G)の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動運転技術 ・社会実験後の運営 ・高度通信技術
レジリエント	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的な自動運転サービスに向けたエネルギー供給 	<p>中期 (3~5年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時における再生可能エネルギーの活用(排熱発電、太陽光発電、バイオマス発電など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新技術の提案、提供

和光市版スーパーシティ構想

東関東道へ



東名高速へ (工事中)